

陸前高田発

仮設団地にサンタ訪問



陸前高田市矢作町の片地家仮設団地に3人のサンタクロースが訪れ、団地の住民に一足早いクリスマスプレゼントをしました。サンタクロースに扮したのは奥州市水沢区の授産施設「ワークみずさわ」の職員と通所者です。施設で作った木綿豆腐やおからを住民にプレゼントし、ユーモアたっぷりの語り口で豆腐製造の経緯や食べ方の説明などを行い、大きな笑いを誘っていました。(12/5 ニュースエコー)

陸前高田市矢作町の片地家仮設団地に3人のサンタクロースが訪れ、団地の住民に一足早いクリスマスプレゼントをしました。サンタクロースに扮したのは奥州市水沢区の授産施設「ワークみずさわ」の職員と通所者です。施設で作った木綿豆腐やおからを住民にプレゼントし、ユーモアたっぷりの語り口で豆腐製造の経緯や食べ方の説明などを行い、大きな笑いを誘っていました。(12/5 ニュースエコー)

山田発

震災復興事業スタート

山田町大沢地区で、土地区画整理事業と、高台移転を核とした震災復興事業の安全祈願祭が佐藤信逸山田町長や工事関係者が参加して行われ、工事がスタートしました。大沢地区のまちづくり事業は、主に商業地を対象に平均1mのかさ上げを行う「土地区画整理事業」と、漁業者を対象にかさ上げや高台に住宅団地を造成する



「漁業集落防災機能強化事業」の2本柱で進め、平成28年度の完成を見込んでいます。(12/9 ニュースエコー)

釜石発

災害公営住宅公開

釜石市平田の県立釜石商業高校跡地に県が整備している鉄筋コンクリート7階建ての災害公営住宅が報道関係者に公開されました。間取りは1DKから3DKまでで戸数は126戸です。当初は9月に完成の予定でしたが工期が遅れ来月末に完成し入居は来年2月上旬になる予定です。しかし9月から入居者を募集しましたが、これまでの応募は77戸で、4割近くの空き部屋が生じています。県は今後内覧会を開いて住宅の内容を知ってもらい、随時入居希望者を募る方針です。

(12/9 ニュースエコー)



大船渡発

仮設住宅で焼き芋会



大船渡盛町の障がい者専用仮設住宅で「焼き芋会」が開かれました。この仮設団地は車いす用のスロープが付くなどバリアフリー設計の

仮設住宅で、現在は3世帯6人が暮らしています。焼き芋づくりは、「食」に関する支援活動を行うNPO「さんさんの会」のメンバーが行いました。焼き芋会には自宅を自力再建して仮設住宅を離れた住民らも参加し、焼き芋を味わいながら、互いの近況を語り合うなど旧交を温めていました。(12/10 ニュースエコー)

陸前高田発

月命日追善供養

東日本大震災の発生から2年9か月。陸前高田市の高田高校第2グラウンド仮設住宅近くにある大震災犠牲者の供養塔で月命日の法要が営まれました。この供養塔は、去年3月に被災した松を使って建てられたものです。供養塔の建立に関わった横浜市・妙深寺の僧侶阿部信仰さんらが、建立以降、月命日



の度に追善供養を営んでいます。参列した人達は震災犠牲者に思いを寄せ、祈りを捧げていました。(12/11 ニュースエコー)

大槌発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMの湧水章代さんが、12月1日に大槌町で開催された「鮭まつり」の際に行われたフードコンテストについて伝えてくれました。このコンテストは、豊かな大槌の食材を使って新しい料理を作り競うもので、地元のお母さん達や企業の方などが様々な料理を作りました。1位になったのは「イカハンバーグ」、2位がシラスの「生ふりかけ」、3位が「香りサケ」(燻製)です。新作料理は今後町の認定を受けた上で県内外に発信します。(12/11)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.abc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122